

◆大会当日の行動における注意事項

- ・感染症対策が遵守できないと運営側が判断した場合、大会途中でも中止を宣言する。
- ・原則として選手及び関係者全ての健康・安全の確保を最優先とする。

●入場にあたって

- ・体育館に入場する全ての方は、当日の朝、検温を行うこと。万一、発熱、倦怠感、咳、咽頭痛などの自覚症状がある方は、入場を控えること。
- ・各学校で入場できるのは、監督（引率・顧問）・選手・登録されたコーチ・登録されたマネージャーとする。保護者の入場については、1日目と2日目で制限が異なる。
25日は各学校ごとに観戦者1名の枠を設けます。IDカードを配布します。時間を区切って交代されてもかまいません。
26日は勝ち残った選手一人につき観戦者〔保護者など〕1名とします。
* 会場の各体育館には感染予防のため収容人数制限が設けられており、監督・選手・コーチ・マネージャーの他に大会運営役員や中体連役員を含めると、収容人数の上限にほぼ達してしまいます。選手については、各学校の交通手段及び宿泊滞在等の都合や自校の審判などのために、1日目に敗退した選手が2日目にも入場することは可とします。
- ・各学校の監督・選手・コーチ・マネージャーは、2週間分の個人用の「体調記録表（中体連作成）」をとりまとめ、入場時には「学校同行者体調記録表」を25日、26日の両日提出すること（県中体連ホームページ参照）。
- ・館内では試合中以外マスクを着用すること。交換用のマスクも準備し、使用済みのものは各自で持ち帰り処分すること。
- ・体育館入場の際は入口で消毒をし、極力密集を避けて移動すること。
- ・観客席は、おおまかに地区ごとにブロックを決めてあるが、人数調整のために地区のちがうところもあり、座席の指定まではできないため、偏りがないように譲り合うこと。また、可能な限り前後左右交互に空けて着席すること。

●当日について

- ・開・閉会式は、監督・選手・コーチは観客席に着席した状態で、放送を使って行うこととする。
- ・表彰式については、入賞者のみ本部席前で表彰する。
- ・各学校ごとに、自校の使用したものや観客席を消毒するために消毒液（スプレー等）を持参すること。
- ・会場内の換気については、常に一部のドアを開放したままにする。また、一定時間経過後にはその他のドアや2階席の窓も開けて換気を行うこととする。換気の際には各学校の観客席の消毒も行う。
- ・選手は、コールの後に指示されたコートに入ること。
- ・コートサイドには、タオルやスクイズボトル等を入れたバッグの持ち込みを許可する。
- ・試合前・試合後には、主審と選手は各コートに設置された消毒液で手を消毒する。
- ・試合中以外はマスクを着用とする。試合中のマスクの着用も可とする。
- ・試合中のかけ声、団体戦の円陣、ハイタッチなどについては全面禁止まではしないが、過度の大声や頻繁なハイタッチは控えること。
- ・試合中のシャトル交換は、使用後のシャトルを主審台の下に置き、新しいシャトルを受け取ること。コートに配布したシャトルが全て使用できなくなった場合は主審が本部に届けて交換すること。
- ・試合前、試合後の握手は行わない。あいさつのみとする。
- ・各コートでは、試合に勝った選手がモップがけを行う。負けた選手は本部席に審判用紙とシャトルを届けること。
- ・各チームの監督・コーチまたはマネージャーは、試合後にベンチを去る際にベンチを消毒すること。
- ・ベンチ入りした者以外による応援は、自校の観客席から、拍手で応援すること。声を出しての応援はしないこと。応援のために観客席を移動しないこと。
- ・昼食時間は特に設けないので、各学校ごとの判断とする。食事中の会話は控えること。
- ・自校の試合や役割（審判・片付け割り当てなど）が全て終了したら、各学校の監督・引率者の指示に従い行動すること。
- ・ゴミは各自持ち帰り処分すること。